

# 2024 年度気象防災講習会

『“自然災害による死者ゼロ”を目指して！（マイ・タイムライン）  
～ 高潮災害対応を中心に住民自身による風水害対応を考える ～』のご案内

## 1. 講習期日

2024年6月1日(土) 13時30分～16時30分

## 2. 講習対象者

本講習会は、以下のとおり「気象防災」に関心をお持ちの方を対象とします。

- ・自身や家族あるいは地域住民の防災に関心のある一般の方
- ・防災啓発活動等を行う気象予報士や防災士等の方
- ・自治体（市区町村）において防災対策を担当される方

### 【受講の条件】

本オンライン講習会は、オンラインミーティングツール「Zoom」システムを用いて行います。そのため、この「Zoom」システムを利用できることが必要です。また、質疑・応答の際に音声及び画像の共有ができることが必要です。

## 3. 講習テーマ

「高潮災害」について関連する防災情報と住民の避難行動の関係を整理して考える住民が自分自身で“避難スイッチ”を入れられる「マイ・タイムライン」を考える

## 4. 講習目標

自治体（市区町村）や住民等が自然災害に対応するための指針として国が示す“避難情報に関するガイドライン”では、住民が持つ避難に対する基本姿勢として「“自らの命は自らが守る”という意識を持つ」としています。しかし、近年の豪雨等の災害でも、住民の避難の遅れ等により多くの人命が犠牲になった状況の調査等から、住民の避難行動に関して、国は「いまだ住民の“自らの命は自らが守る”意識が十分であるとは言えない」としています。

本講習会では、災害対応に重要な“自助”“共助”“公助”の連携のうち、その基盤となる“自助”に焦点を当てます。住民に自身の“マイ・タイムライン”を作ってもらふことの重要性やその内容に関する考え方、また住民がその作成過程で“自らの命は自らが守る”ことについての理解と意識を高められること等を解説します。

受講者には、これらのことを整理して修得いただき、それぞれの立場において防災啓発活動等に活かしていただくことを目標とします。

## 5. 講習内容

次の3部構成で実施します。

- ・ **第1部 近年の顕著な高潮災害等の状況**

近年の顕著な高潮災害等から、その際の自然現象の状況や関連する防災気象情報について解説します。

- ・ **第2部 住民が“自分の命を守る”ための防災情報**

各種の防災情報のうち、高潮災害に関連する情報及び住民が“自分の命を守る”ために特に注目すべき情報について解説します。

- ・ **第3部 マイ・タイムライン**

講師がこれまでの経験をもとに作成した、“マイ・タイムライン”のひな形を示し、一般住民への「自分で“避難スイッチ”を入れられる道具となる」ことの説明の仕方等を解説します。

## 6. 講習教材及び形式

講習教材は事前、およそ一週間前にはメール及び印刷物での送付を行います。

講義は講師による講話が中心ですが、受講者からの質問や意見を受ける時間を設けます。なお、講習会前までに講習内容に関連する質問を受け付け、講習当日にご質問に答えるよう努めます。また、講習後も一定期間内質問を受けます。頂いた質問に答えるよう努め、受講生全体に提供します。ただし、全体に答えることができない場合もあることも、承知おきください。

## 7. 講師

講師は、元気象庁松江地方気象台長の楠木英典氏です。

楠木氏は、現在、国土交通大臣より委嘱された「気象防災アドバイザー」として、市町村への防災アドバイザー業務や市民への防災啓発講演等に活動中です。

気象庁在職時代に、2004年兵庫県豊岡市における大水害の際には、所長として勤務していた豊岡測候所が大浸水となり、やむなく業務停止のうえ全職員の避難を決断した経験や、2011年紀伊半島豪雨の際には、気象庁支援チームの責任者として、大災害となった奈良県十津川村の災対本部を現場で支援した経験など、災害現場で多くの防災対応を経験されています。

資格：気象予報士、防災士

## 8. 募集定員

50名（先着順）

## 9. 受講料（教材を含む）

3,740円（3,400円+消費税）

## 10. 申込み方法

「受講申込書」に必要事項をご記入の上、下記の申込先へ電子メールでお申し込みください。

受講の申込みは先着順です。

メールにより受講の受付け後、受講料の振込先をご連絡しますので、受講料を指定の銀行口座にお振り込みください。

また、請求書・受領書等を必要とされる場合は申込書備考欄に名義と必要書類をお知らせください。

なお、一旦納入された受講料の返金には応じかねますのでご承知置き願います。

### 宛 先

(一財) 気象業務支援センター 「講習会」 担当 宛

E-mail : methiroba@jmbse.or.jp